

廃液・廃油・汚泥のリサイクル事業

事業内容	● 産業廃棄物の収集運搬・中間処理とリサイクル製品の製造販売を中心とする事業
2023年度の振り返り	● 大手顧客工場を中心にシェアアップが奏功し、廃液の入荷量の増、リサイクル燃料の販売好調により過去最高の売上高と営業利益を達成した
基本戦略	● 技術力の向上と新設備導入による受入品目と受入量の拡大でシェア向上 ● 環境、リサイクルをキーワードとするM&A
市場環境	● 国内鉱工業生産量は今後長期的には横ばいもしくは減少していくと見込む一方でカーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの需要が増大していく可能性

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	S trength (強み) <ul style="list-style-type: none"> ● 優れたビジネスモデルによる利益率の高さ ● リサイクル率の高さ ● カーボンニュートラルへの貢献 ● 全国に展開するネットワーク ● 幅広い取扱品目 ● 解釈が難しい廃掃法に関する知識 ● 災害発生時の緊急対応能力の高さ ● 廃液や廃油の浄化による環境保全への貢献 	W eakness (弱み) <ul style="list-style-type: none"> ● サーキュラーエコノミーをまだ主力事業にできていない ● 事業範囲が国内のみであり、まだ海外展開できていない ● 海外メジャーと比べると事業規模が小さく、事業範囲が限定的
	外部要因	O pportunity (機会) <ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラルを求める顧客の増加 ● 資源価格高に伴うサーキュラーエコノミーの必要性の高まり ● 国際社会の生物多様性、水循環への関心の高まり ● 廃掃法の規定による国内の廃棄物処理業の参入障壁の高さ

今後の成長戦略 ● 産業廃棄物リサイクル事業のシェア拡大、温室効果ガス排出量の少ない産業廃棄物のリサイクル処理サービスの展開、サーキュラーエコノミーに関する研究開発と新規事業の開発